

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(154)、(187)」

2. 日時：令和5年12月6日(水) 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、鈴木安全審査専門職、松末技術参与、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長  
他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（コメント回答（追加））

<<本年11月29日に受取済み>>

・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（コメント回答）

・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（本編資料）

・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:10	規制庁地震津波審査部門のスズキでそれでは時間になりましたので、浜岡原子力発電所歴史広く津波堆積物の調査ということで、コメント回答資料はコメント回答本編補足資料と、
0:00:25	ずっと後は、本日付で、一応コメント回答に後程追加する予定ということで、浦大手の資料を1枚、一部ということで、
0:00:36	提出があります。一応本件1年前ぐらいですかね、審査会合でのコメント回答ということで初回のヒアリングになりますんで、まずは資料の方を中部電力から説明をお願いします。
0:00:49	はい。中部電力の尾川です。2022年11月25日の102095回審査会合でいただきましたコメントの内容について本日は津波堆積物の
0:01:02	内容についてコメント回答させていただきます。説明時間およそ20分程度となっております。それでは担当の方からご説明させていただきます。
0:01:11	はい、中部電力、西村でございます。
0:01:14	浜岡原子力発電所、歴史記録、
0:01:19	はい。
0:01:21	歴史力、歴史記録及び津波堆積物に関する調査について、前回会合からの変更点を中心にご説明いたします。
0:01:28	資料はコメント回答資料と本編資料、補足説明資料の3分です。コメント回答で説明を行い、コメント回答資料で説明を行います。
0:01:38	コメント回答の中身は本編資料に反映済みです。
0:01:41	コメント回答資料をお願いいたします。
0:01:45	3ページをお願いします。前回会合におけるコメント一覧表です。
0:01:50	イベント堆積物等の認定に係る根拠恒設についてコメントをいただいております。
0:01:55	これについて、詳しくは後程コメント回答方針とともにご説明いたします。
0:02:01	5ページをお願いいたします。
0:02:05	本日は最初に、歴史記録及び津波堆積物に関する町村全体概要を説明し、歴史記録及び津波堆積物に関する調査のコメント回答を説明いたします。
0:02:16	6ページ、7ページは、調査の検討概要です。
0:02:20	6ページは、検討方針。
0:02:22	そして学長さんの方針結果を書き下して示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	7 ページは、その評価結果がよりわかりやすい、わかりやすいように、結果の概要を示しております。
0:02:32	6 ページをご覧ください。
0:02:35	まず検討方針ですが、歴史記録及び津波堆積物に関する調査は、敷地が位置する演習など演劇を対象として、
0:02:42	記録として残る時代の津波規模、
0:02:45	把握する、歴史記録に関する調査、そして記録として残る以前の事例も含めた津波規模を把握する、津波堆積物に関する調査、
0:02:53	この二つの調査に基づいて、歴史記録及び津波堆積物から推定する津波高を評価いたします。
0:03:00	このうち、津波堆積物に関する調査においては、津波堆積物に関する文献調査に加え、文献調査による巨大津波の見逃しを防ぐため、
0:03:09	敷地及び敷地周辺において津波堆積物に関する現地調査も実施して、津波堆積物の分布標高を確認し、
0:03:17	津波堆積物と津波高との関係を考慮して、津波堆積物から推定される津波高を評価いたします。
0:03:25	各調査結果については、7 ページでご説明させていただきます。
0:03:29	まず、歴史記録に関する調査ですが、
0:03:32	敷地が位置する演習など沿岸域を対象として文献調査を実施し、
0:03:37	その結果、約 50 地点で津波痕跡が確認され、その高さは概ね 5 から 10 メートルであることを確認しました。
0:03:45	この調査で確認された津波痕跡高を津波高と考えて、歴史記録から推定される津波高を概ね 5 から 10 メートルと評価いたします。
0:03:55	続いて、右側の津波堆積物に関する調査です。
0:03:58	こちらは文献調査と現地調査を実施しておりまして、まず文献調査については、
0:04:03	遠州灘沿岸域を対象として調査を実施し、その結果 7 ヶ所で津波堆積物が確認され、
0:04:10	その標高は概ね 0 から 5 メートルであることを確認しております。
0:04:14	次に、現地調査ですが、敷地及び敷地周辺を対象に調査を実施しておりまして、
0:04:20	※1 で示しておりますように、保守的に津波以外の要因も含む。
0:04:25	イベント堆積物をすべて津波堆積物として評価しております。
0:04:29	その結果、敷地を含む 2 ヶ所でイベント堆積物が確認され、その標高は約 0 から 8 メートルと評価しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	その下左から矢印が入ってきておりますが、津波堆積物から津波低下を推定するにあたっては、
0:04:44	津波堆積物の分布標高よりも、実際の津波高は高いということを考慮して、その差を、
0:04:49	東北沖地震等の知見に基づき、+0 から 2メートルと評価し、
0:04:54	これらの結果から、津波堆積物から推定される津波高を概ね 5 から 10メートルと評価いたしました。
0:05:01	以上より、歴史記録及び津波堆積物から推定される津波高は概ね 5 から 10メートルと評価いたします。
0:05:09	8 ページからは、各町村の検討概要で、8 ページは、歴史記録に関する調査の検討概要です。
0:05:16	9 ページは、津波堆積物に関する調査の検討概要。
0:05:21	10 ページは、津波堆積物に関する文献調査の検討概要になります。
0:05:27	下表の通り、一番左の箇所名のところに示しております。計 12ヶ所で調査がなされております。
0:05:33	そのうち津波堆積物が確認されているのが、その二つ右の欄に示しておりますが、10ヶ所になります。
0:05:41	さらにそのうち標高 0メートル以上で文献に標高の記載があるものは、右から 2 番目の箇所ごとの堆積物の最大標高という欄に示しておりますが、7ヶ所で確認されておまして、
0:05:53	その標高が大体、概ね 0 から 5メートルであることを確認しました。
0:05:59	12 ページ、13 ページは、津波堆積物に関する現地調査の検討概要です。
0:06:05	下の大きい箱ですが、現地調査は、まず調査地点の選定として、
0:06:10	他機関による津波調査、津波堆積物調査が実施されておらず、敷地に近いキクカワ流域に野川流域、箆川隆起及び敷地西側東側を対象に、
0:06:22	津波堆積物が識別しやすく、残存保存されやすい。
0:06:26	0 層が分布すると推定される計 39 地点を選定し、ボーリング調査を実施しております。
0:06:33	イベント堆積物の抽出においては、
0:06:35	採取量のコア観察に基づき、
0:06:38	まず地層中において、上下の地層と異なる層層の地層を抽出し、
0:06:44	さらにその地層について、津波堆積物に見られる特徴を踏まえて、
0:06:48	そうそう、こちらは構造の乱れや削り込みの有無、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:51	平面的な分布、こちらは2点以上の連続的な分布の有無、極限含まれるウエキ等により、
0:06:59	噴気ゲンカリーク議案は伴判断
0:07:02	それぞれを確認し、津波起因の可能性が否定できない堆積物をイベント堆積物として抽出します。
0:07:10	イベント堆積物の標高の評価にあたっては、放射性炭素年代測定により、イベント堆積物の堆積年代を特定し、
0:07:17	堆積当時の調査地域の海面高度を考慮します。
0:07:21	また、敷地におけるイベント堆積物の分布上限については、その上流側において追加ボーリングを実施し、
0:07:28	津波堆積物に見られる特徴を踏まえて、より高い標高にイベント堆積物がないことを、福津複数の地点で確認しております。
0:07:37	その結果、一番下になりますが、イベント堆積物は、箕輪流域及び箆川流域では確認されず、
0:07:44	敷地及び寄付は流域においては確認されました。
0:07:47	確認されたイベント堆積物をすべて、津波堆積物と評価し、その堆積当時の標高は、
0:07:53	敷地では約0から8メートル。
0:07:55	菊川流域では、約1から4メートル未満と評価しております。
0:08:00	この結果他機関による演習など沿岸域の津波堆積物調査結果と同様に、巨大な津波を示す津波堆積物は確認されませんでした。
0:08:10	13ページは現地調査のフローです。
0:08:13	14ページは、現地調査の調査結果。
0:08:16	15ページは、敷地の現地調査の結果です。
0:08:21	16ページは、津波堆積物から推定される津波高の検討概要です。
0:08:28	津波堆積物の分布標高に+0から見えとるすることについては、会合で考え方がわかるようにというご指摘がありましたので、記載を修正してございます。
0:08:38	箱書きになりますが、津波堆積物の分布標高よりも、津波高は高いと考えられることに留意し、
0:08:44	津波堆積物の分布標高や層厚と津波高との関係について、文献をもとに検討し、
0:08:50	津波堆積物から推定される津波高を評価しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:55	既往知見に基づきますと、東北地震など、既往津波の津波堆積物の分布標高と最大遡上高との差が約 0 から 2 メートルの範囲となっていることを確認しております。
0:09:07	この差を考慮し、左下の図に、図のように、イベント堆積物の層厚と、津波堆積物から推定される津波高との関係が、
0:09:16	東北沖地震津波の仙台閉における分析結果の範囲内であることを確認した上で、
0:09:23	津波堆積物の分布標高と津波高との差を、
0:09:26	それから 2 メートルと評価することとし、
0:09:29	遠州灘沿岸域で推定される津波高を概ね 5 から 10 メートルと評価いたしました。
0:09:36	17 ページは、歴史記録及び津波堆積物に関する調査結果まとめです。
0:09:43	以上が、全体概要になります。18 ページ、18 ページからはコメント回答の説明です。
0:09:50	19 ページをお願いします。
0:09:53	コメント回答の概要になります。
0:09:56	まず、コメントですが、上の箱書き。
0:09:59	1 ポツ目、敷地のイベント堆積物の分布上限周辺において、イベント堆積物がないとしている提出堆積物については、その判断根拠を示すこと。
0:10:10	2 ポツ目、敷地のイベント堆積物として比較的厚い層厚を認定していることについて、
0:10:15	コア観察結果、地形的な特徴等から、
0:10:18	考察を加え説明すること。
0:10:21	最後になりますが、イベント堆積物の評価の基礎データであるボーリングコア写真と柱状図は、
0:10:26	調査地点ごとに、両者並べて示すこと。
0:10:29	になります。
0:10:31	これらに、
0:10:32	コメントに対する回答の概要を下の箱書きに示しております。
0:10:36	①ですが、敷地のイベント堆積物の分布上限周辺の調査地点について、
0:10:42	提出堆積物中にイベント堆積物がないと判断した根拠を整理しました。
0:10:47	②敷地において認定したイベント堆積物は、層厚約 20 センチから 3 メートルとばらつきがあり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:53	比較的厚いものも見られるということについて、既往知見に基づき、調査地域の地形的な特徴等からの考察を加えました。
0:11:03	丸さん。
0:11:04	イベント堆積物の評価の基礎データであるボーリングコア写真と柱状図は、
0:11:09	調査地点ごとに、同じページに利用者並べて示しました。
0:11:13	これ以外にも下に記載しているように、適正化を実施してございます。主な内容は以下の二つで、敷地断面図に記載している保守性炭素年代をBCD表記からBP表記に変更しております。
0:11:26	また参考として掲載していた補足説明資料 7 章。
0:11:30	括弧 3 個、敷地の津波堆積物に関する詳細調査を評価に使用しないことから削除してございます。
0:11:37	次ページ以降に、①から③の内容を示します。
0:11:41	20 ページをお願いします。
0:11:46	①ベース堆積物中にイベント堆積物がないとした判断根拠です。
0:11:53	敷地西側及び東側のイベント堆積物の分布上限周辺の調査地点について、
0:11:58	実際セキ物中にイベント堆積物がないと判断した根拠を、次ページ以降に整理しております。
0:12:04	21 ページをお願いします。
0:12:09	まず、敷地西側ですが、下の赤枠で示すように、敷地、9、15、14、18 人。
0:12:16	イベント堆積物が分布しており、その分布上限を確認している 78 周辺の、
0:12:22	緑枠で示す敷地 19、20、21 人提出堆積物が認められております。
0:12:28	ですが、いずれのベース堆積物中にも、イベント堆積物がないと判断しております。
0:12:34	その根拠については次ページに示しております。
0:12:37	22 ページをお願いします。
0:12:41	下表の一番右の評価欄に、各校の判断根拠を記載しております。
0:12:46	このページでは敷地 19 から 21 の三つを示しておりますが、
0:12:50	敷地 1921 と敷地二条は位置付けが異なっております、
0:12:55	敷地 1921 は、青線で示しているように、
0:12:59	上下の地層と異なる層層の地層というものが認められるんですが、イベント堆積物ではないと判断しているものです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:06	これについてはこれまで、その根拠を説明しているものになります。
0:13:11	これらとは異なり、敷地二条はそもそも上下の地層と異なる損地層が認められないと判断しているもので、今回その説明を加えております。
0:13:21	表の評価に記載の通り、甲斐の眼カシルト及びそれを整合的に覆う腐植質シルトも連続して堆積しており、
0:13:30	それぞれの地層中に早々の変化が認められないことから、
0:13:33	上下の地層とことん相双の異なる地層が認められないと評価してございます。
0:13:40	23 ページには、イベント堆積物の認定貢献も示してございます。
0:13:45	24 ページからは敷地東側になります。
0:13:49	本ページと次ページに示すように、イベント堆積物は、
0:13:53	敷地 1 から 7、13、16、17 に分布しております。
0:13:58	その上限を確認している敷地 13 周辺の緑で示している敷地中、
0:14:03	12、22 から 24 については、提出堆積物が認められますが、
0:14:09	いずれのリース堆積物中にもイベント堆積物がないと判断しております。
0:14:13	その根拠を 26、27 ページに示しております。
0:14:18	26 ページをお願いいたします。
0:14:22	敷地東側も西側と同様で、
0:14:25	敷地 12 と 22 は、上下の地層と相双の異なる地層が認められるんですが、イベント堆積物ではないと評価しております、
0:14:34	その他の敷地、11 ページの 2324 については、地層中に宗層の変化が認められないということから、
0:14:42	そもそも上下の地層と異なる層層の地層ではないと判断しております。
0:14:46	堆積中にイベント対策ですか、ないと判断してございます。
0:14:52	28、29 ページには、イベント堆積物の認定根拠も示してございます。
0:14:59	30 ページからは、
0:15:00	②敷地のイベント堆積物の層厚に関する考察です。
0:15:06	イベント堆積物の層厚に関する考察をするため、下の図のように、
0:15:11	発電所開発前の地形に、イベント堆積物の平面的な位置関係、標高、層厚を整理しております。
0:15:20	敷地のイベント堆積物の層厚は一律ではなく、
0:15:23	約 20 センチから 3 メートルと、ばらつきがございました。
0:15:27	層厚がばらつく要因について、フジワラ 2015 に基づくと、津波堆積物は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:32	部屋等の調査適地であっても、一般に津波堆積物の材料となる物質の供給量、
0:15:39	対数堆積物をためる空間。
0:15:42	津波堆積部、堆積物を作る大型の別途フォームによって層厚がばらつくとされております。
0:15:49	また、澤井 2012 等では、局所的な地形条件や、非常に狭い範囲での流速の違い等により、
0:15:56	層厚は一律ではないとされてございます。
0:16:00	敷地については、部屋等の調査適地とは異なり、
0:16:04	一つの通り、
0:16:05	海岸に近く、狭隘で、曲がっている谷地形であることから、
0:16:10	ばらつきが生じ、一部で比較的厚く堆積したものと考えられます。
0:16:15	また、特に層厚が厚い海岸付近の敷地さんのイベント堆積物については、
0:16:21	他地点のイベント堆積物とは異なり、改正れきから成り、
0:16:25	このようなイベント堆積物は海岸近くの敷地 3 敷地 4 のみでしか認められないということから、
0:16:31	敷地 3 付近に供給元となるべき浜等が存在した可能性が考えられます。
0:16:38	下のですが、なお、イベント堆積物の層厚と、津波堆積物から推定される津波高の関係については、異なる地域イベントの調査結果を単純に比較するということは難しいと考えられますが、
0:16:50	ゴトウエンドウ 2014 による東北沖地震津波の仙台閉における分析結果の範囲内であることを確認しています。
0:16:59	32 ページは、③津波堆積物調査のボーリングコア写真及び柱状図です。
0:17:06	イベント堆積物の評価の基礎データであるボーリングコア写真と柱状図は、
0:17:11	これまでそれぞれにそれぞれ別々に掲載しておりましたが、今回わかりやすい、わかりやすさの観点から、以下の通り、
0:17:18	調査地点ごとにボーリングコア写真と柱状図を同じページに挙げて示すこととしております。
0:17:25	その 1 例を示してございます。
0:17:28	全ボーリング孔については補足説明資料と一緒に掲載してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:33	33 ページからは、評価結果のまとめです。
0:17:37	当社の説明は以上になります。
0:17:43	はい。規制庁鈴木です。はい。浜田。
0:17:47	はい。
0:17:49	本日すいません本日イベント堆積物の認定方法資料を、
0:17:55	ご確認ください。
0:17:59	こちら、
0:18:00	イベント堆積物の認定方法を整理したページになります。箱書きですが、
0:18:06	イベント堆積物の認定にあたっては、津波堆積物に見られる特徴、供給元、そうそう平面的な分布の各項目を検討し、
0:18:15	総合的に判断し、津波起因の可能性が否定できない地層を、
0:18:19	イベント堆積物、下表で言うと、AからC、
0:18:23	否定できる人を、イベント堆積物がないとして、下のEからHと評価してございます。
0:18:30	評価の考え方は、以下の表に示している通りです。
0:18:35	そしてなお、各項目の検討結果が異なるBからCですね、各項目の検討計画となるというのは、
0:18:43	Hはそれぞれ津波起因の否定可能性が否定できない。
0:18:47	ものが全部そろっていて、市の場合は、津波起因が否定できる条件がすべてそろっている。
0:18:53	この場合除いたBからGというものについては、
0:18:56	陸期限のイベント堆積物には見られない、津波堆積物の特徴である。
0:19:00	ウメキで、
0:19:01	の可能性の有無というものを重視して、この左側の供給元というところを重視して、評価してございます。
0:19:11	はい。で、
0:19:12	こちら、
0:19:14	Dについては少し、
0:19:17	評価の考え方を、
0:19:20	他のとはちょっと音楽となって書いてございますが、こちらについて説明させていただきます。
0:19:25	議員の評価の考え方のところについてご確認ください。
0:19:31	こちらのdの場合は、供給元が海起源の可能性が否定できない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:36	相双の乱れがない、平面的な分布、連続性もないといった条件のもとで、
0:19:43	こういった構造の乱れ等もなく、内陸に無期限の堆積物が効率するって いうことが考えがたいということから、
0:19:51	こういうものが見つかった場合は追加の試料分析やボーリング調査に よって精査する。
0:19:57	ここに、
0:19:58	いうふうに考えています。ただ、右側の評価に記載して、
0:20:02	る通りで、
0:20:04	今回の調査ではうまく回答がないものになります。
0:20:08	同じように、BCについても、
0:20:11	旧患プラスそうそう給源プラス平面的な分布で、ミキ0の可能性が否定 できない場合も、イベント堆積物にしますが、
0:20:20	こちらも同様で今回の調査では、該当がないというものであります。
0:20:25	なので今回、我々の調査で見つかっているものとしては、Aという、
0:20:30	パターンと、
0:20:31	から1パターンになって、
0:20:36	そちらを具体的に結果とともに示しているのが8ページの2ページにご ざいます。
0:20:42	これは今まで示していた評価結果のページに、
0:20:45	今回の類型化の分類というものを、右から2番目に追加して示したも のでございます。
0:20:52	以上で、
0:21:00	じゃあ軽重スズキですはい、説明ありがとうございました。
0:21:03	ちょっと、
0:21:06	前回会合から1年ぶりのコメント回答ってことで少し詳しくにご説明い ただいて、
0:21:11	コメントのうち、
0:21:14	ちょっとコア写真と柱状図を並べることみたいなこれは単なる資料の
0:21:19	つくりの問題なので、
0:21:21	それはそれで良いです。
0:21:24	カー。
0:21:26	当初、
0:21:29	ピンポン、
0:21:32	ちょっとまた追加で出てきたこの認定方法ということですね、結局、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:37	ちょっとここが、いわゆるイベント堆積物で、いわゆる洪水みたいな。
0:21:44	ものまでイクイキコウズイみたいなものを含めてイベント堆積物を全部拾って、津波堆積物とみなしますと言いつつ、何かこの供給元とか相双とか平面的には連続もうこれなんか、
0:21:56	どの順番で物を見ているのかっていうのが、
0:21:59	このコンペインとかイトウのを、これと 22 ページとか 23 ページのナカ評価みたいのを見比べていくと、この 22 ページ 23 ページこれもちょっと後で、
0:22:10	この評価に書いてあることはどこのことを言ってるのかっていうのを後で細かく聞こうと思うんですけど。
0:22:15	この供給元っていうのは、これ、これ供給面を入口にして考えてですかね、何かこう 22 ページ 23 ページの方見ていくと、何かそうそうがまずあった上で、それを、
0:22:25	うん。連続性とか供給元でもって何か否定しにいつてるようにも見えてて、ちょっとそこら辺の関係を教えてもらっていいですか。
0:22:33	中部電力の西村でございます。
0:22:38	今回津波堆積物の調査というところで我々としては、やっぱり津波堆積物、
0:22:43	と陸期限のイベント堆積物の違いというのは、やっぱり陸から北上から来たかっていうのは、かなり大きな違いになるということで、
0:22:52	それが陸から来たものだということが判断できるイベントであれば、それは
0:22:59	津波以外の要因として否定できるというふうに考えて、
0:23:02	なので供給元の方は重視して評価してよ。
0:23:07	ただご指摘あったように、
0:23:11	そういった書き方にこれまで示した補足説明資料の 2 章とか 2 個の性状一覧表というのを示していたんですけど、そういった書き方には、
0:23:21	ちょっとなっていないので、そこら辺を少し、
0:23:24	工夫は必要かなというふうに、
0:23:29	ここの評価というよりも、判断ルールのことをまず聞いていて、
0:23:36	これ。
0:23:38	だから追加で出てきて、供給元地層の成因含む海、一応米印で海起源の可能性が否定できないものどういふものを否定できないものにするんですか。そもそもあるんですけど、
0:23:51	子家センとか崩れとか植生、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:54	積極的に、
0:23:57	いわゆる離宮性の可能性があるものは、
0:24:01	それはもうすべからく落としていくっていうと、交通費減とかそういうものは、
0:24:07	入れる要素ってあるんですけど、あそこ。
0:24:10	何か保守的にイベント堆積物は拾うと言いつつ、長谷先生とか崩れ植生とかっていう供給元できれば、少なくともまた柏しようもないしょうがないかもしれないですけど、
0:24:22	洪水みたいなものは、
0:24:24	見える要素はない。
0:24:27	いやこの判断基準だとどうしても、陸期限のイベントも、
0:24:33	こういうものは落とすきれないです。でもそれは割り切るんですけどいうところがなんかあんまり、
0:24:38	見えてこないんですけど。
0:24:40	海起源の可能性が否定できないってどういうものを指してるんですけど。はい。衛藤。
0:24:46	例えばですね敷地、18 のコメント回答資料でいきますと、23 ページのような、
0:24:54	23 ページをご覧ください。で、敷地 18 の部分ですね。
0:24:59	こちら全部、
0:25:01	ミキが否定できないものとしてイベント堆積物として認定して、
0:25:05	いうものになります。
0:25:06	こちら、柱状図の記事の欄を見ていただくと、何か、
0:25:12	会費の歴が入っていたり、
0:25:15	海の砂が入ってきたりしてるようなものではないんですけども、こちら、相良層の泥岩歴が含まれていて、
0:25:23	その利益の形が円から円ということで、
0:25:27	こちら実際津波ではない可能性も十分にあると考えているんですけど、こういった
0:25:34	連携をしているという形から、保守的にこういったものは、津波の可能性が否定できないとして海として認めているものになりますこういったものを、我々グレーと考えてるものを、
0:25:46	含めて、無期限としてるとかということから、
0:25:49	こういった書き方をさせていただきます。
0:25:55	円礫亜鉛力であれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	当然河川性の可能性もちろんあるけれども、
0:26:02	これは少しでもいい形の可能性があるればこれは海起源、
0:26:07	明らかに下先生と言ってるのはこれは完全な隔壁みたいな。
0:26:12	まさにですね、新野側とかで確認されて、歴系とかをイメージ検討したものがあ
0:26:22	るんですけど、そういったものは、河川と判断できるとして、
0:26:27	その河川の生の堆積物として評価して、
0:26:29	このあたり、
0:26:32	の拘束とかには、
0:26:35	説明資料でいきますと、
0:26:39	今の河川の話であれば、
0:26:45	補足説明資料 5 章の 5-15-2 で、
0:27:02	そういったものを示してございます。改正歴と、河成性の利益との違い
0:27:09	については検討してございます。
0:27:13	細かい内容とかは、補足説明資料に適宜と合わせたりしていただければ
0:27:18	と思うんですけど。
0:27:19	ちょっとこれ、
0:27:23	呉はかなり割り切ってイベント堆積物イコール津波堆積物相当とみなし
0:27:27	ますと。
0:27:38	で、
0:27:41	いるのもあって、細かいところまでね、
0:27:46	どこまで絞り込んでいくのかっていうところは、
0:27:50	あるんですけど、イワイ一応こうスクリーニングかけていくので、その根
0:27:55	拠というか、この方法でいくと、少なくとも海起源のイベントは、絶対それ
0:28:02	はこぼしが無いんですけど。
0:28:05	多少変なものもまざってしまうかもしれないですけど、
0:28:07	そこら辺のまず合理性を説明してもらった上でじゃないと、
	いきなりこのコアを見に行くとはですね。
	一通り補足にはエビデンスあるということであるんですけどもちょっとこの
	あたり、
	その供給元とかでどういうふうに絞り込んでいくのかとか、一応これ総合
	的に判断にはなってるんですけど、このあたり
	AND条件なのかor条件なのかで、
	結構見ていくとなかー。
	個別のコアの観察の方見ていくと、まずなんかそうそうで、少しいい可能
	性があるようなものを拾って、それをややとはいえ供給元としてはです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ね、これ、完全な河成性なんですよとかっていうので、何か否定しに行ったりとかですね。
0:28:21	平面的な分布連続性って言うのもうなんか、
0:28:25	周辺のどれどこに連続し、してるのかどことの連続性を見ているのかっていうところが、やっぱりこの観察から見えてこなかったりするんで、ちょっと後で言いますけど、
0:28:35	ちょっと極限のところ、これ、補足の内容とか根拠を少しかいつまんで書いた上で、詳細補足に飛ばしていいと思うんですけど、
0:28:44	それは
0:28:46	少なくとも海起源のイベントは漏れなくこれで拾えるんですけどっていうのは、ちょっとわかるような説明に、
0:28:52	してもらっていいですかね。
0:28:54	その上で、この辺りちょっと今、ミキ原理期限ってところd格子がないかどうかで、何かあります。
0:29:03	前にも、
0:29:05	確かに案なんだ、何て言いたい。
0:29:08	多分、もともとは少し化学分析みたいなものをした上で、分けようとしていたけれども、さすがにそこまでになると、当然津波となったときに完全に、
0:29:19	その海から来たものだけがたまるのかというところもあったりして難しいということで、
0:29:24	完全な肉声改正を分けるのは、そこは一旦断念してですね、割とシンプルな根拠にしたんだと思うんですけど、
0:29:33	この辺りですね、
0:29:35	ここのヒューコアの観察結果に行く前にですね、
0:29:39	まずルールというか、
0:29:41	何に基づいて、これであれば絶対こぼしはないんですっていうのをまず見せてくださいと。
0:29:50	あとこれ、そうそう構造の乱れみたいなのところも、これどこだったかな。
0:29:55	所々、その押し引きですかね、何か滞留とかどっかにあったような気がしたんですけど。
0:30:02	ホシノ構造比木の構造と、本編でしたっけ。
0:30:16	この辺りはなんかは最後の判定に入るんでしたっけこれ最後の厚さのまとめかな、コンダクトか。
0:30:24	コメント回答だと 31 ページみたいなのところに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:27	引き波こんだけ押し波混在って書いてあって、
0:30:31	これは、
0:30:32	ちょっとすみませんこれまた古くなってしまうので、
0:30:37	引き波みたいな
0:30:39	いわゆる行って帰っての構造がないと費これは想像としては、
0:30:46	なしに該当しますよとかそういうルールでしたっけこれ。
0:30:51	ええ。
0:31:18	一応ね 2 ページ、追加でなってる裏面の 2 ページ、構造の乱れ削り込みのところの最後に押し引き構造等って書いてあるんですけど、はい。
0:31:29	人事部の嶋です。衛藤。
0:31:31	そうですね。宗層の乱れについては構造の乱れや削り込み、
0:31:37	傾斜した境界面等も含んで、
0:31:40	オオハシコードも含んで認められるものを書いてございます。
0:31:45	今鈴木さんがご指摘あったのは、
0:31:49	コメント回答資料でいきますと、
0:31:54	31 ページとかでもう、こういった各イベントの、
0:31:59	公共、
0:32:00	して、
0:32:01	そういった部分も、
0:32:06	ぜひ
0:32:07	評価の根拠され、しているか。
0:32:14	それでいき方が悪い、例えば構造の乱れや削り込みはあるんだけど、
0:32:19	越智と日野両方がなかったんでこれはなしに該当するって話なのか、いやうち構造が非構造のどっちかがあれば、これは該当するっていうその判断になっているのか。
0:32:30	そこら辺がこれ、仮に現地に物を見に行ったら行くんだとするとときに、ちょっとそういうようなところの基本、
0:32:39	あらかじめ聞いてこちらとして把握しておかないと、
0:32:43	オノ見に行ってもいやいや、実はそ、これを首藤 機器の両方の構造があって初めてあれにするんですとか、
0:32:50	ちょっとそこで現場に見に行く段階になってから、考え方のずれが発覚すると、3号機が手戻りになるんで、ちょっとそういうところをしてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:00	すいません中部電力の久松です。これ、何か1図すべてそろわないと押し引きというわけではなくて例えば100、補足説明資料132ページ、本当に事例、事例で、
0:33:14	あれなんですけど、一番下、敷地に、
0:33:18	2の評価のところを見ていただきますと、
0:33:22	藤式、もし必要。
0:33:25	示す堆積構造が見られとか、いうことを書いておりますので、表、あるものについては、こういった押し引きで、判断しているところについてはこの評価の中に、
0:33:39	一応、何がそんな、
0:33:41	何が見られるかっていうのは、記載しております。これがないからといって、式と乱れ。
0:33:49	削り込みがそろったら、抽出するわけではなくて、そのいずれかが、そのうちの何が見られるかっていうのはこの評価の中に、逐次、逐一書いています。
0:34:06	はい。
0:34:06	実際、この言い方が正しいのかはないんですけど、上記のいずれも認められない。
0:34:14	というぐらいで考えて、
0:34:17	中部電力の久松です。ここで、構造の削り込み等があるかないかっていうことであれば、この中でどれか、どういった構造が、
0:34:27	どれか一つ、認められればありという方に入ってきますので、全部なければなしの方に入るんですけど、
0:34:35	可能性が否定できないような構造が、いずれか見られれば、一応ありの方に安全側には評価しております。
0:34:45	はい。
0:34:48	この平面的な分布に1点以上、
0:34:52	と言っているものなんですけど、
0:34:55	コメント回答の
0:34:58	地図ですね100さあんどこだ、例えば129とかだと、
0:35:05	コウ。
0:35:06	何か足。
0:35:08	断面線と違って取っていたりするんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:12	この 2 地点以上で連続的に分布が認められるっていうところに、2 点以上の連続って、これ 1 個隣のものまで何かこれモンマ谷異なりのものなのか。
0:35:23	どこまで何か、
0:35:25	いや、1 個隣までだったら 2 地点以上で、左と右両方ないと駄目ですっていうことになるんですけど。
0:35:32	この辺りは何か、どういう。
0:35:35	判断をされることになるんですかねこ。
0:35:40	中部電力の久松です。こちら一応我々のルールというかこの判断としては二つセットになっていれば、有井の方に、
0:35:50	きています。例えばですけど 128、さっきのページ、同じページで、
0:35:56	いいですが 100、補足説明資料 132 ページで言いますと、この下から 2 番目の e-1-04 というものでいきますと、
0:36:07	評価の中に、陸側、陸側の 3-02 と同様にというようなことで、セットになるものが、これと一緒にセットになってるんで、ここは認めますっていうか、
0:36:23	有井の方にピックアップしますということで、
0:36:26	一応この評価の中に、
0:36:28	連続するものについてはど、
0:36:31	どのイベントとセットかっていうのは、評価の中に入れていたつもりです。
0:36:41	すいません、ちょっと私多分、
0:36:42	本編の方、
0:36:44	のページですいません行ってしまったので申し訳ない。
0:36:47	例えばですよ。敷地のイベント堆積物の調査ポイント一覧とかっていうことで、例えばコメントガイドだと 30 ページとかに、
0:36:57	いろいろあるじゃない。
0:36:59	例えば右側敷地東側だと、
0:37:03	幾つか 4、3121 から 5 が同じようなところにグルーピングされていて、
0:37:12	ここの中でどれか戻るかも、或いは六、七、いくつか 1067、23101111 が幾つかこの塊があるじゃないですか。
0:37:23	この辺のところで、
0:37:26	断面制 1 個の中でも 1 個 2 個飛ばしてもいいんですけど、同じようなものがあればそれは拾われるっていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:33	ちよつこの辺りもと、一方で、これ敷地の3とか4とかと、大分高台に行った、例えば敷地の位置で何かあったものが、似たようなものが敷地の22でアリマ22でありますとか、中でありましたって言ったときに、そういった連続ってふうに見るんですか。
0:37:49	そのあたり、もうちよつとですね。
0:37:53	少なくとも日以上なんで、今見ているコアと別のコアであればこれに1点っていうカウントになるんですけど、ちよつとそのあたりの範囲もどの辺まで拾ってるのかっていうところ。
0:38:06	これ1異なりまででもなさそうでは、きっかけやったんですけど、
0:38:30	はい。
0:38:34	はい。衛藤。
0:38:36	基本的には
0:38:38	二つとなり、
0:38:40	隣にあるもの。
0:38:42	で、連続性を確認している部分にはなるんですが、福生直下にあるというのも一つキーワードとしてはあるので、そういったところを見て、連続性が、
0:38:54	あるというふうに判断できれば、連続性を認定して、
0:38:57	ございます。
0:39:03	ちよつとそういったところですね後裏面ダテ供給系のところは先ほど少しあったんですけど、
0:39:09	この辺りも
0:39:12	ですね、この記載だけなのか。
0:39:15	ただ、このルールでいくと、
0:39:17	私どのぐらい。
0:39:19	陸期限のイベントが、
0:39:21	交じり込むのかっていうところは、
0:39:24	あんまりイメージ湧かないんですけど。
0:39:27	わかるといたしますかね、これ、この
0:39:30	判別の仕方とな。
0:39:32	別にミキ元のものさえ公募しなければ、別に最終的には問題はないんですけど、
0:39:41	最後ちよつとこれらをどう総合的に評価するかというところであります当然三つとも該当したらそれはさすがにイベント堆積物っていうことなんでしようけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:53	平面的な分布はない局所的に確認されてるんだけど、
0:39:58	といったときには最後、ここはさすがに総合創造と、
0:40:03	供給元から、
0:40:05	判断するって異なると思うんですけど、はい。
0:40:08	ちょっとすみませんね、追加で出てきた。
0:40:11	この辺りですね、
0:40:13	判別ルールみたいなものが、
0:40:15	はっきりしていないと。
0:40:19	会合或いはそこから現地で見に行ってきたと。
0:40:22	何かその場で、
0:40:24	あれこれって何なんで、イベントにしてないんですけどつけというところがポロポロ出てきてしまうということで、
0:40:30	ちょっとまずそのですね、
0:40:33	エビデンス何か補足とかでいろんなとこ出てきてるんだと思うんですけど。
0:40:37	ものが、やはり久々にですね、回答を聞いて、
0:40:41	すぐ多分はい。
0:40:43	てこないかね。
0:40:44	ということで、
0:40:46	中部電力の尾川です。本日提出させていただいた資料のですね認定方法のところ今回、表を提出させていただいておりますけれども、
0:40:56	今鈴木さんからお話いただいたような観点でもう少しわかるような形で、実際のものと、この考え方をしっかりわかるように、説明したいと思います。
0:41:09	自分でナカものでございます。
0:41:11	ちょっと、
0:41:12	難しいところが、例えば今、
0:41:15	表現悪いですけど平面的な分布で2地点以上で連続的に分布が認められてちょっと一般化した書き方をさせていただいて、今、鈴木さんから合計あった通りで、
0:41:29	基本的に津波と地震を考えた場合にあるところだけ堆積物が飛び地であるっていうのはありえないということで下流から追っかけていったときに、どこにあるかという意味の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:42	連続するところを見に行ってるというところでちょっと表現もう少しわかるようにするんですけどとはいえ、あまり一般表現しちゃうとですねこれ全部個別個別やっぱり、
0:41:52	見ていっているんで、そその辺りの表現の仕方を少し工夫して考えていきたいと思いますが最終的にはもう一本一步を見て、
0:42:03	先ほどの 30 ページにあるようにこういった流入経路、
0:42:07	過去の井山という方に地形がこのようにあったという過去の地形を考えながら、雑魚こことここが飛び地になるかならないかっていう関係を見て、
0:42:19	やっておりますので、ちょっとその辺の表現を考えます。
0:42:34	はい、よろしくお願いします。
0:42:37	ことで、
0:42:39	ちょっと追加で出てきた。
0:42:41	認定方法とかですね。
0:42:44	それをもとに最後どう。
0:42:45	分類していくかっていうところで、先にすいませんそこだけ見ましたけど、
0:42:50	もしこの点で気になる点がある方々いたら後程でもいいですけど、あります。
0:43:06	城野道口ですいません少し教えてください。
0:43:10	当間、供給元のところで、基本的にはウエキの淘汰具合とかで判断されてると思うんですけど、ちょっと真面目に聞いたかもしれないんですけどこび化石分析とか、
0:43:21	下が行ってないんです。
0:43:25	渋谷栗島。
0:43:27	藤比嘉セキ分析は一応計装の方をやってございまして、
0:43:32	そちらは、以前も、
0:43:34	となっているんですけど、本編資料の方に記載をさせていただきます。
0:43:40	本編資料の 43 ページを、すいません、お願いします。
0:43:49	この箱書きの下の、
0:43:51	4、
0:43:53	本編資料の 43 ページ。
0:44:10	はい。の箱書きの下に※コメちとちと少し小さい文字申し訳ないんですが、記載させていただきます。珪藻分析による評価というものを試みてはいるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:21	資料中に沙羅層に含まれるか井清社と同じ所がちょっと含まれておりまして、
0:44:26	海基準化力循環の判別というものが困難であったというところから、イベント堆積物の評価に珪藻分析結果を用いていないと、今なっています。
0:44:38	ございます。
0:44:40	例えばそのほかに他等、
0:44:42	海岸線の砂とかとの構成物とかの比較とか、そういうのとかっていうのも行っているのでしょうか。
0:44:52	鉱物組成的なものですね、その形成されている砂の、
0:44:57	構成物ですね。それと、
0:45:07	すいませんそうですか。
0:45:08	はい。
0:45:14	そして規制庁スズキですけど、
0:45:17	多分、なんだろうなもともと等、もう少しイベント体制物からさらに、津波堆積物というか、完全な海起源のものかどうかを多分選別する。
0:45:28	試みをやっていた時には多分そういう、
0:45:31	幾つかチャレンジはしてるんですかね。なかなかそこが、時間をかけてはつきりとさせるのか、ある程度はできるのかっていうところで、
0:45:40	多分今のところは、円礫というかもこういうはつきり見てもうすぐわかるようなもの以外は、
0:45:46	要素としては使わない。
0:45:49	これで何で逆に海起源のものが、取りこぼしがなければいいのかなと思ったんですけど。
0:45:57	その観点だと大丈夫かなっていう。
0:46:02	わかりました。
0:46:04	あとすいませんさっきその平面的な分布っていうところで、2点以上とか、比較はされているってことなんですけど、その範囲としては大体どのくらいの範囲なんですかね。
0:46:17	比較している。
0:46:20	何キロぐらいの範囲での交付
0:46:23	結果の比較なのか教えていただけますか。
0:46:28	中部電力の久松です。範囲といえますか、
0:46:34	ボーリングを連続的に追っかけていきますので、隣同士でいるかどうかという範囲に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:44	ことになります。なので飛び地、先ほどもありましたけど、広い範囲に広がるものですので、飛び地でコウいうところで、あるかどうかというよりも、同じものが隣同士の
0:46:56	ボーリングであるかどうかという判定をまずしています。そこで、
0:47:02	安全側といいますか、海側からの連続というよりももう単に、隣同士で同じそうそのものがあれば、まずはここは否定できないものとしてピックアップをするというルールにしています。
0:47:16	例えば、敷地 9 の地点だったら、こちら辺でボーリングをⅣ. ぐらい掘っていて、
0:47:26	まずその比較をしているっていう、すみません、意味でしょうか。
0:47:36	あ、すみません、本編の 42 とかちょっと今見てるんですけど、
0:47:43	例えば敷地 9 と敷地 15 とかで比較っていうわけじゃない。そういうことです。中部電力の久松です。年式地球であれば、その隣り合う七、八だとか 75 と、
0:47:57	に続いているかどうか、引地 15 にある特徴をイベントとし、あやしいものとしてピックアップしていればシモノが 14、或いは次、
0:48:08	79 にあるかどうかということによって隣同士でこう見ていって、隣同士で似たようなものがあれば、2 点、ここは 0 といいますか、ありというふうに判定しています。
0:48:20	わかりました。とりあえずそういう範囲での比較ということということでは、理解しました。
0:48:27	あとすみません、今日のコメント回答のやつで、
0:48:32	ごめんなさい。
0:48:37	はい。
0:48:50	だったらいいんです。
0:49:09	ありがとうございます
0:49:11	すみません。
0:49:12	提出堆積物っていうのが、この地域での、いわゆる平常時堆積物で、
0:49:18	いう。
0:49:19	そういうことですね。で、
0:49:21	敷地 9 とか 105048 には、ちょっと左室的なイベント堆積物みたいなのが見えているという理解でよろしいですか。
0:49:32	そそういうこと。そういう意味で、192021 とかだと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:39	今回、イベント堆積物っていうのを多分、ほぼ津波堆積物と認定してる と、同じ言葉で使われてると思うんですけども、そういうものがな い、なかった。
0:49:50	という意味ですね。はい、そうです。
0:49:54	あとすいません敷地 8 に提出体制物堆積物なしって書かれてるんです けど。
0:50:00	この辺はその平常時が、
0:50:02	1 堆積物がたまる場所で、
0:50:05	てことだと思うんですが、
0:50:09	この堆積物なしっていうのはすいませんちょっとどういう意味なのか教 えていただきます。
0:50:18	補足説明資料の 31 ページをご覧ください。
0:50:26	こちら側、
0:50:27	敷地 8 のボーリングのコア写真と柱状図載せてございますが、
0:50:35	実際に基盤と布施さ、
0:50:41	臼杵参事。
0:50:46	衛藤。
0:50:48	基盤封鎖しかないっていうのが確認されると。
0:50:51	そうです。
0:50:52	実際に 1、これが、
0:50:55	補足説明資料の 30 ページにその地質断面図を示しておりますが、七、 八っていうのは少し特異な部分というか、基盤ももともとすごく高いとこ ろなので、堆積してないという、
0:51:06	はい、わかりましたありがとうございます。
0:51:15	規制庁の山田です。ちょっと教えてください評価のところ、認定方法のと ころだったんですけども、基本的にこの
0:51:25	EFG1 の河川崩れ植生等の供給減、こちらについては、落とすっていう ことだと思うんですけども、
0:51:35	そちらのその理由みたいなところをもう一度ちょっと教えてください。
0:51:42	はい。衛藤。
0:51:45	この追加でお渡しした方の 2 ページの方を、
0:51:48	ご確認いただけると。
0:51:53	この 1 ページ目のところで、
0:51:55	はい。はい。で、
0:51:57	理由というのを、2 ページに少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:52:00	きついわかりやすく、もともと書いてあったところなんですけども、
0:52:03	右側に基本の判例というものがあると思います。こちら検討項目三つ、
0:52:11	出していった、供給元のところで、海、河川崩れ、そして注入という部分を記載してございます。それぞれ、何でそういうふうに判断するのかというところなんです。
0:52:23	河川であれば、操作や淘汰の悪い佐伯飛ぶがあり、
0:52:27	河成の
0:52:28	河成の佐伯であると判断できると、D崩れであれば、相良層群の泥岩力等であり、基盤の再堆積と判断される。
0:52:39	植生であれば、不正措置、植生でいっても大体、
0:52:44	腐植質シルトになるんですけども、
0:52:47	風雪砂層中の狭在するD1層であり、先を、植生もしくは局所的な水たまり出てきた腐食層、もしくはシルト層と判断できるからということを書いてます。注入に関しては、これ、
0:53:01	1例だけのちょっとレアケースなんですけども、堆積層の上下の境界面に感情の緑があって、液状化により砂等が注入したと判断されるというところで、
0:53:12	この四つについては、そういう理由で考えてます。
0:53:15	これは、供給元がこういう特徴を持つていうことだと理解してるんですけども、これがそれがどっかにたまったか。
0:53:26	たまった場合に、堆積イベント層として、それが津波津波で運ばれてないっていうことを否定できる。
0:53:35	を考えていますか、そこをちょっとお聞きしたかったところです。
0:53:40	衛藤。
0:53:42	それも海起源、
0:53:45	例えばこういう基盤の崩れみたいなのがベース堆積物層中に入ったとして、
0:53:51	そのときに噴気元をあらわすものがなければ、
0:53:55	泥岩歴の崩れだけなので、それはやっぱり上からの崩れ崩れで発生しただろうというような考え方で、いずれはそうかもしれないですね。はい。
0:54:06	同じようにし、腐植つ知ると。
0:54:09	の部分も一応布施砂層中の中で、うん。
0:54:15	黒い部分をピックアップして、すべて見てはいるんですけども、そういったものも、何か、うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:24	海側から巻き込んできたような様子がなければ、やっぱり単純に植生構造の乱れもなかったり、全然しますので、それは、
0:54:33	風刺植生が運営、
0:54:37	分解されて、
0:54:39	有機質の土になっただろうという、そういった日程。はい。
0:54:42	今おっしゃってくださったその構造の乱れとかいうところで、その1ページ目の方の認定方法の中では、
0:54:50	その構造の乱れが、
0:54:52	ある場合も、最終的にイベント堆積物ではないとされてるんですが、これはつまり、崩れ、供給元のが崩れになるから結局、
0:55:05	堆積物ではないとなってるのか、その他の供給元、陸域っぽい供給元だけど、
0:55:11	最終的にイベント堆積物ではないと判断してるのかその違いとかありますか。
0:55:18	江藤。うん。例えばこのEのパターンで、
0:55:22	こちらは植生も崩れもありまして、何でじゃあ植生なのに、葛谷崩れありなんだっていうところなんで植生ありで、
0:55:32	構造の乱れみたいな削り込みみたいなところもが認められてるわけですよ。
0:55:40	それは、
0:55:44	待つ津波をしてできてるのかなというのが、
0:55:50	腐植質シルト層で、植生と専用としては判定してるけど、構造の乱れがあるというのをちょっと矛盾するような思い、記載にはなってるんですけど、この宗層というものが、
0:56:02	こちらの認定方法のところ、
0:56:06	傾斜した境界面も含むと、記載してる間、
0:56:10	かなり広く、構造の乱れというものを認定しています。なので、例えば布施砂層中に、ちょっとまた人谷なんで斜めに、腐植質シルトがたまってることもあるんですけど、
0:56:22	そういった傾斜したところも、一応ソウノウダ令和ありと、ちょっと保守的に全部やっていって、
0:56:28	なので、
0:56:31	この削り込みとかではないんですけど、
0:56:34	そういう評価上は、
0:56:36	緑アリマで、植生でイベントじゃないという判断をしている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:41	うん。それは最終的に植生だから否定したっていうことでいいんですね。
0:56:47	つまり、この認定方法の中の、
0:56:54	早々と平面的な分布っていうものは、基本的に何か参考情報のような扱いになってるのかなってちょっと、
0:57:04	今聞いてと思ったんですけども、このEFGHについては、
0:57:09	つまりEFGHについては、供給元がもうカセングで植生だったらもう早々がどうなるかが、平面的な分布がどうであろう。
0:57:18	スクリーニングアウトになってるっていうイメージなんですけどそれは合ってますか、理解としては。
0:57:25	はい。そうですね、そこについては。うん。はい。あとその復元を重視して。なるほど。それは一般的なんですかね。今、いろいろとご説明いただいたんですけども、
0:57:36	そういう方法でスクリーニングアウトするっていうものは、基本的には、
0:57:40	一般的なことなんでしょうかっていう。
0:57:47	中部電力の久松です。
0:57:49	今この供給元以外の、そうそうだとか平面の分布っていうことを考えると、陸であろうが海であろうが、津波であろうが、陸側であろうが、いろんなところで見られる特徴ですので、
0:58:03	それだけを重視してしまうと、もう
0:58:07	山の中でもこういう特徴が出てきてしまうので、やっぱり津波を評価する津波堆積物を評価するという意味では、まずは供給元を重視して、
0:58:16	その中で、他のやつも、ちゃんと検討しながら、供給元を重視して、抽出はしております。
0:58:26	はい。はい、供給元が重要だというのは直観的にもすごく理解はできる場所なんですけども、
0:58:34	そうですね。できればこれが一般的なスクリーニングアウトのスクリーニングの方法とか、それが科学的に何か言ってるような知見とかありましたそういうのも、
0:58:45	引用いただければ、
0:58:48	何でしょう。
0:58:50	いいのかなと思います。
0:58:56	中部電力の森です。今し方の議論ですねちょっと1ページの表を、まだ
0:59:04	もう少しわかりやすさっていう観点で、強いちょっと整理し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:08	そして作り込んでいく必要があるかなと感じております。で、1 ページの例えばその一般的に津波堆積で見られる特徴って何なのかっていうところでこの 3 点をピックアップしてまして、
0:59:19	通常は、当然供給元は海起源だし、乱れはあるし、海からの連続性もあるっていうものが、津波堆積物のいわゆるイベント並みであろうというイベント堆積物と、認定される。
0:59:31	ものであろうと思いますんで、それぞれのこの三つの中でも、供給元が、どういうふうに海と認定するのかとか、相双をどういうふうに、ただ、
0:59:42	単に傾斜してるから、早々に堆積の特徴見れるわけではなくて、もう少し先ほどデータの押し引きの特徴だったり、乱れがあったりっていうところから、通常はアノありというふうになっていたりとか、
0:59:53	平面的な連続性も海からしっかり連続しているかっていう観点で、周りというふうになっていくと、その中で、それぞれがありありとか、赤くなっていったって、全部そろっているものっていうのが、基本的には通常一般的には津波堆積物というふうに認定されるであろうと。
1:00:09	いうふうに考えてます。で、我々ちょっと今保守的にやっていると言ってるのは、
1:00:14	それぞれの供給元だとかそうそう平面的な部分、それぞれを
1:00:20	絶対に違うというのはやっぱりありますので、明らかに上から降ってきたようなガラガラした、片山医師が入ってるだけだったり、菅先生のお意思が入ってるだけであったりというようなものははじいてると。で、
1:00:30	明らかに違うと言えないもの以外は今、海というふうにしているということだったり、相双もちょっと傾斜してるだけとかっていうことも含めて、広めに拾っていたりするという補正が一つ。
1:00:42	あと、あとは、Aだけではなくて、BCDなんかの供給元は海ということとは、かもしれないというところと、
1:00:52	そうそうだったり平面的な分布っていうところが、いまいちそうではないかなというところも含めて、ABCの広めにとっていってるとその 2 点が、保守性としてはあると思っておりますので、
1:01:03	そこは船員供給元ってのは重視しつつも、他のところも当然津波耐性部調査としては見ながら、その中でちょっと保守的に
1:01:11	評価をしていっているというところがちょっとわかるように、1 ページの 2 ページですね、1 ページ目のところちょっと今後整理させていただきたいなと思っています。
1:01:20	はい、ありがとうございます。そうですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:23	ちなみにといたしますか参考情報としてなんですけども、
1:01:29	さっきゴトウ覧 2012 とか、引用されてたと思うんですけども、古藤先生たちがされてる、このせん断ヤノ。
1:01:36	猪調査では、
1:01:40	陸上での噴砂の堆積物も、津波堆積物されて、それは結局陸域元の砂、
1:01:48	ですので、そういったところも、いろいろやっぱりあと河川水からのデッキみたいなものもやっぱり堆積物として溜まっていたりしてなかなかそこを分離するのは、
1:01:58	難しいと思うんですけども。はい。一つだけにこだわったりすると、
1:02:04	漏れがあったりするのかなっていうちょっと懸念がありました。はい。
1:02:10	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。ちょっと供給元という言葉も多分、あまりよくなくて当然
1:02:16	前面からのその他再堆積再堆積というか、陸域にあるような砂浜が海の水を巻き込んで最大リスクっていうことも当然あり得るので、そういうものは含んではいるものの、明らかに上から降ってきたものとか明らかに河川のものが溜まっただけのものっていうのを
1:02:32	明らかなものだけはじいているというのがちょっとわかるようにさせていただきたいなど。
1:02:39	電力アマンでございます。ちょっとこの 1 ページの表の、
1:02:45	アリーナして書いてるのが、頭ありというところを保守的に判断してるんですけど、このマトリックスで見ると、今山下さんおっしゃられた通り、なんかは、
1:02:56	ありありと書いてるのに、何で堆積物じゃないんだっていう、
1:03:01	誤解を招くような表現かなというところがあって、一般的には、今盛が申し上げた通りで、基本的にはっていうのが、堆積物でそれ以外は、ちゃんと、
1:03:11	一般指標としたら、それは堆積物ではないんでしょうと。ただ、このありっていうのを保守的にチェックした上で個別にしっかり見たという話をしてさ、その結果をこの表にまとめてこよ一般論じゃなくて、
1:03:27	この浜岡のケースのみのものなのでちょっとそこがわかりにくいんじゃないかなと。今日、ヒアリングでご確認いただいている中でよくわかりましたんで、その辺わかるように工夫して参ります。
1:03:44	規制庁の松江です。ちょっと教えていただきたいのは、
1:03:48	今日、柱状図とか、写真もつけられてるとそれ見ると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:55	イベント堆積物である、津波堆積物であるという評価をされた部分は、
1:04:02	演出体制栗栖中の
1:04:05	見られとかれき眼力部とかそういうところに対して、津波の特徴であるとい うことで津波堆積物と評価されてるんですけども、
1:04:14	イデムタ大切ではありませんと評価されてるところは、
1:04:20	早速とか、
1:04:22	基盤との間の、
1:04:24	提出堆積物全体に対して、
1:04:28	イベント堆積ではありませんという評価になってるように見えるんですけ どもこれは私の認識は違ってますでしょうか。
1:04:39	チームで新国島津衛藤、評価対象としては、
1:04:43	This堆積物から風生砂層中の中を見てはいるんですけど、結果して、
1:04:49	イベント堆積物が見つかっているのは、
1:04:51	佐伯ソウノナカ。
1:04:52	です。
1:04:54	それは、基盤から、
1:04:57	布施さんまで、
1:04:59	今日いただいたやつで赤で囲ったやつは、もっと厚い提出歳出中の一 部の部分なんですよね。ところが緑のところは、Dノ全体を緑にしてある んですよ。
1:05:12	だから、
1:05:13	説明の仕方としては、
1:05:17	ベース堆積中のイベント堆積物が5、御社がイベント財政部じゃなくて、 通常の堆積物と違う構造物質でできてる、いわゆる
1:05:30	洪水津波もろもろの、
1:05:32	土砂崩れのイベント、
1:05:35	地質的な、
1:05:36	堆積環境におけるイベントの堆積物、
1:05:40	を見ると、これは津波でない津波っていう評価をするべきなのに、
1:05:45	御社の場合は、
1:05:48	暑い中の乱れたところを見て、これは津波ですよと言ってるんだけど、
1:05:53	何も無い津波砂層を
1:05:56	これは津野イベント対策室ありませんと評価しているようにしか見えな いんですけども、それは違いますか、私の勘違いでしょうか。
1:06:05	衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:06	具体的に言いますと、
1:06:10	はい、今対峙ん簡単に言えば、
1:06:14	今開けてるんで補足の 72 ページ 3 ページ。
1:06:20	これ敷地 10 番ですよ。
1:06:26	例えば今日いただいたやつでいうと、26 ページに敷地 10 番の、
1:06:34	上端と下端 4.3 から 5.32 って書いてあるけど、これ補足資料後、全体の中で見ると、
1:06:41	下は基盤で上は布施砂層の間の電子タイムス全体ですよ。はい。
1:06:48	ということです。
1:06:54	ということは、何かゆ、この緑の部分、布施、津波堆積物でないという評価をしている部分は、社葬の間に入っているつなぐ電子圧縮事案が何かイベントのような、
1:07:08	そういう評価をしてこれは海ではありません。土砂崩れするだから、津波堆積物はしませんという、そんな評価になってるように思うんですが、
1:07:20	衛藤、すいません、敷地 10 番の位置付けを、
1:07:24	再度ご説明させていただきますと、こちらもともとはこういった日一覧表にはまとめていなかったものになります。というのも、我々、
1:07:34	認定の方法として、まずは、
1:07:38	ボーリング掘って、その中で、上下と相双の異なる相双というものをピックアップしていくと、それ、それらについてイベントかイベントじゃないかという判断をしていってるんですけど。
1:07:48	敷地 10 番については、
1:07:51	そもそも上下と異なる早々の地図だと、
1:07:55	見られないということで、
1:07:58	す、記載してなくて今回、ちょっとそういった、前回の会合で、そういった特異なところにある部分についてもちょっと説明を加えてくださいということで、たまたま挙げてたから、式辞を言いましたけど、
1:08:11	例えば、今日いただいた 2、
1:08:14	うん。
1:08:16	コメント回答の 25 番で、あと三つ 24 とか 22 とか、全部同じなんですよ。
1:08:23	状況は、
1:08:25	だから、
1:08:27	逆に言うんですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:29	デンシツ最大物がたまるような環境があって、そこへ何かがかつてのがイベント堆積物であるという評価でやるべきであって、
1:08:41	これ見ると何か、
1:08:43	ベース堆積物自体が何かイベントのような評価にしか見えないんですよ。
1:08:48	緑の部分は、
1:08:55	中部電力の久松です。おっしゃる通り、提出堆積物の中にコウシモノがいるかどうかですね、イシイものが、津波、
1:09:05	海起源かどうかというような評価はしてきております。で、今回ここで23 だとか 24 だとか 10 を加えさしていただいたのは、
1:09:15	その前のページ、55 ページ、補足せんとこれはコメント。
1:09:21	本誌本編資料 55 ページの断面図に書いたように、まずイベント堆積物として2、すいません。
1:09:29	本編資料で、
1:09:31	言うと、
1:09:33	本編資料の 55 ページだとか、
1:09:37	でいきますと、まずイベントとして、堆積物、D層中にイベントが入り込んできているというところで、
1:09:47	イベントがその周辺にないかどうかという確認もしないといけない。それをないということを確認しているところを、イベントイベント全くない、もともとなかったので、
1:09:58	言及してなかったんですが、今回改めて、こういった、そうそう、提出堆積物が存在していてその中には何もありませんということはこの表に、
1:10:10	追記させてもらったものでありますので、その手前まではイベント等の検討はし、イベントが来ているという確認をしている、その延長で、
1:10:20	これを追加させてもらったというものになります。うん。いや、
1:10:26	アンドウしてることはもう内容もわかっているんですけども説明が、
1:10:30	混乱を招く、それはさっき、さっき都築も言いましたけども、
1:10:38	洪水も、
1:10:40	津波もあわせてイベント堆積物をすべて津波堆積物と評価すると、調査方針でうたいながら、
1:10:49	イベント体制物がアリマセンナアリマありませんとか、
1:10:53	ありましたっていうやつ、
1:10:56	はさっきおっしゃったようにそういう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:11:01	それこそ事件的な、もうイベントという言葉と混乱するからあれなんですけども、何か事件があった堆積物、
1:11:10	を評価して津波かどうかを上げましたと。
1:11:14	だから、
1:11:16	方針のところのね、記載が、
1:11:19	混乱のもとのような気もするんですけども、
1:11:25	先今野期、今のご説明でもイベント堆積物は確認できなかった。
1:11:33	イベント対処を探して探して、それが津波かどうかを判断しましたっていうそういう流れをきちんと書かないと、例えば、イベント堆積物がないと判断した根拠って書かれて、
1:11:47	海ではありませんこれは土砂崩れでしたと書かれると、すごくこう、
1:11:53	ぱっとこう図面を見てイデ面とフタミセキソウノ分布っていう断面図が見せられたときに、非常に混乱するんだと思うんですよね。
1:12:02	どうしてだろうっていうような、
1:12:06	その辺ちょっと工夫していただければと思うんですが。
1:12:15	津波堆積物の評価をするときに、なかなか本当にこれがその意見かどうかっていうのは難しいので、
1:12:22	通常はイベント体制別はすべて詰まると評価しましょうっていうのが大體の流れなんですよね、一般的にはね。
1:12:30	それを、だけじゃなくてももっと詳しくきちんと調べたらイベント堆積層でも津波起源を否定できるものがありますよっていうのが御社のこの資料だと思うので、そういう流れできちんと説明をしていただければいいと思うんですけど。
1:12:44	その辺ちょっと混乱、
1:12:47	読んでいってだんだん混乱してくるので、
1:12:49	その辺ちょっときちんと説明していただければと思います。以上です。
1:12:56	中部電力天野でございます。ちょっと工夫しますけど、今の緑はもともとこれがコメントで、当イベント堆積物として評価しているもの。
1:13:08	その分布上限辺りでないと、イベント堆積物じゃないという、主体性武器物についてもその判断根拠を示すようにという、前回の審査会合、
1:13:21	でのご指摘を踏まえて追加しているというものになりますんでちょっとその辺りをわかるように、記載をしていきますが私たちのその判断基準が変わったというわけではないので
1:13:34	そこの表現を考えます。
1:13:53	規制庁佐口です

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:56	今回のコメント回答っていうものを、
1:13:59	ナカD、
1:14:00	少なくとも私をご確認をさせていただきたいのはちょっと特化した言い方になりますけど、19 ページで、
1:14:10	今、大きく、
1:14:12	三つ、コメントがありましたよ。そのコメントの概要として①②③という形で今回コメントが、回答をしますと、
1:14:23	このうちですね、
1:14:24	ちょっとよく、やっぱりよくわからなかったのが、②ですね、②、
1:14:30	何かこれ。
1:14:31	何かばらつきが、
1:14:33	ある比較的厚いものも見られることについてみたいなことを、
1:14:37	冒頭に書かれてますけど、
1:14:39	割れは0からの趣旨っていうのはむしろ、
1:14:44	ばらつきがあるかどうかじゃなくて非常に厚い。
1:14:48	ものもあるんだけど、
1:14:50	それらについて、何でそういう熱いものがあるんですかということ、
1:14:56	もうちょっとこれ考察なりをしてくださいというそういうコメントの趣旨だったと、
1:15:02	その回答をやっぱり見ると、ここで言うと30、
1:15:12	何ページだっけ。
1:15:14	31、30、30、31 ページですね。
1:15:19	31 ページはこれ、単なる表だけなのであれなんですけど、ちょっと30 ページ見ると、
1:15:26	多分、上の箱書きの一番すし、最後のところですよ。
1:15:31	なんかとにかく複雑な谷地形とかそういうのも含めて、
1:15:37	そういう地形をしていたのでばらつきが生じて、一部で比較的厚く堆積したものと考えられる。ここまではそういうことも当然あるでしょうね。
1:15:47	とはなるんですけど、
1:15:49	そのあとですね。
1:15:51	で、
1:15:52	結局、
1:15:54	多分一番この焦点があった分、敷地さんのこの3メーターというものに対しては、
1:16:02	他のイベント堆積物とは異なり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:05	改正力から成りっていうのが多分前のページか何かに、
1:16:09	あるんですね。これ多分 28 ページとか 29 ページを見て、
1:16:14	何か引地さんとカミヤマタ確かに歴が結構入っていて、
1:16:19	何か他とは雰囲気違うよねということまでは何とかわかるんですけど、あとごめんなさい非常に細かいことなんですけど 28 ページって、
1:16:27	例えば敷地さんは、
1:16:29	デンシツ堆積物中に、評価のところですね。
1:16:32	住谷甲斐西暦を含みって書かれていますけど、
1:16:37	C-14 は単に 01 堆積ず、
1:16:40	途中にれきを含めていて、
1:16:43	何の利益かよくわからなくてずっと読んでいくと最終的に改正歴っていうのが、何か出てくるんですけどこうなんか書き分けているのかどうかっていうのは、
1:16:51	ちょっとそこは後でお聞きしますけれども、っていうのと、
1:16:56	もう 1 回 30 ページ戻ると、
1:16:59	じゃあ何でこの敷地 3 と 4。
1:17:01	ていう、
1:17:03	ところしか、そういった改正歴が認められなくて、
1:17:09	何か御社は各敷地 3 付近に供給元となる。
1:17:12	ウエキ品等が存在した可能性が考えられるって書いてますけど、
1:17:19	何か、
1:17:22	海岸付近とかってその海岸をどこに取るかってのはあるかもしれないですけど見ると別 3 とか 4 だけじゃなくて、125 とかだって当然近いんじゃないですか。
1:17:33	て思って、じゃあ何で 1 とか 2 とか、そんなに厚くないので 3 だけ暑いんですかねって、まさにそういうところをもうちょっと何か考察をして、
1:17:45	欲しいと、我々、そういう、
1:17:48	ことも含めて、
1:17:50	してきたんですけど、
1:17:53	だから、ちょっと今の
1:17:55	うん。回答妥当すごく漠然とし過ぎていて、
1:18:00	何かコメント回答も、
1:18:05	ていをなしていない部分も若干あるのかなと思ったんですけど、もう 1 回ごめんなさい。
1:18:11	今の私が少し確認をさせていただきたかった点も含めて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:16	ご説明いただきます。
1:18:22	はい。中部電力の久松です。これは我々の中で検討しているという考え ていることなんですが、まず当時の海岸線という意味では、
1:18:36	10メートルか、10メートルまでいかない程度かというぐらいのところだと 思っておりますので今、地形図、30ページに地形図見ていただきました 青い線がある。
1:18:49	この青い線の前後もちよい手前かなという。だから、薄い緑のところまで は海が入ってきたかなと思ってます。
1:18:59	敷地郷の方から、下から推定される津波の侵入方向ということで青い矢 印書いているところと、あと右側に佐川が河川があるんですけどそちら からも入ってきているだろうということを考えてはおります。
1:19:17	ここの34しかないってところで、考えているのは、
1:19:22	今、文字で敷地5って、赤い字で書いていますけどそちらの方からの下 から矢印が入ってくるような、
1:19:31	矢印ありますけどそこん。
1:19:33	左右に、基盤が高く高まりがありますのでそこちょっとアノーモリがある ところがあったのかなあとっております。
1:19:43	そこの一まりを通ってきた
1:19:48	前面にある。
1:19:50	れきが、
1:19:51	この細いところを通ってきたから入ってきたのかなということは想像はし ておるんですが、
1:20:00	一応そんな考えは持っております。
1:20:04	1とか2の方は方向が違ってそこには残らなかったのか、標高が 多少違って、
1:20:13	残らなかったの可能性は考えられるかなあとは思っております。
1:20:21	はい規制庁佐口です。あくまでも私の
1:20:26	今久松さんの、
1:20:28	ご説明を聞いた上での想像でしかないので、何とも言えないんですけれ ども、少なくとも今のご説明にあった
1:20:37	御社の考えられる当時の海岸線がどこでということですねまず、
1:20:43	この青線だったら青線でいいんですけど青線ってのはあくまでもこれ標 高。
1:20:48	野瀬さんだけであって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:50	こういうところに海岸線があったと。で、先ほどのご説明をそのまま多分、私がとった印象としては、
1:20:59	この、今、
1:21:01	推定される津波の侵入方向って二つ矢印があって、それぞれから来るのもあったりして、そういうことも含めてで、
1:21:11	さらに当時の地形は今後もこの通りかどうかは別として、こうだったんだろうという、
1:21:17	そういうことを考えると、
1:21:20	この引地さんあたりに、そういったものがたまりやすくなってるんじゃないのかというご説明であれば、少なくともそれがわかるような文章なり、
1:21:31	今のこの図だけで、この文章だけで理解しろというのは多分非常に難しく、
1:21:36	そこは
1:21:38	資料としてまずわかりやすい資料を、
1:21:42	していただきたいと。
1:21:43	というのが私の、あくまでもこれは
1:21:46	お願いというのか、会合に行つて、これをコメント回答資料とするのであれば、その程度はやっぱり、
1:21:55	必要かなと思いますのでそこだけはちょっとコメントさせていただきます。
1:22:00	チームでぬかものでございます。
1:22:03	本編資料の 72 をご覧いただいてよろしいですか。
1:22:10	もともと
1:22:11	投光器地震で津波堆積物、
1:22:15	結構当然調査されておりまして、
1:22:19	結局、
1:22:21	堆積物の厚さの特徴っていうのは、
1:22:26	やはりその海岸付近の地形だとか、供給元がどういうところにあったか。
1:22:33	ていうのが非常に重要で、
1:22:37	その佐伯の例えば、ランキングがあってそ、それが引き波でこう穴埋めていたりとかそういった事象もいっぱい報告もされていて、こういったところを、
1:22:48	念頭に置きつつ先ほど佐口さんからご指摘あった 30 ページ書いてるんですけど今、ご確認いただいた通り、ちょっとせつかく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:58	考えてはいるもののこの文書で全く読めないなっていうのが、重々わかりましたのもう少しこういった知見も踏まえつつ、我々のあの当時を想定した、
1:23:10	地形から考えればやっぱりこういう事象ではなかろうかっていうのをわかりやすい表現で、お示したいと思います。
1:23:19	はい佐口です。よろしくお願いします。その一方で、事実関係として、この三、四っていうのが、改正の歴、
1:23:30	ていうのを含んでちょっと他とは違うよっていうこれも事実は事実ですので、その辺も踏まえてですね、ちょっとわかりやすくしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:23:51	はい。
1:23:53	後ですいません。
1:23:57	イベント堆積物評価ルールのお話を、すみません中心にしたので、なんですけど。
1:24:03	ちょっとコウ呉とコメント回答の、例えばこの 22 とか 23 とか、一応、
1:24:10	御社の評価を抜粋されてたりするんですけど、
1:24:16	この辺りをですね、
1:24:20	コア写真は多分、
1:24:23	前の 21 ページの中の一部分。
1:24:27	もうほとんどその不正誘うだけの部分とか、基盤しかないような、
1:24:32	深さの部分は、多分とっぴらって、一部抜粋したりとか、さらにはアノホソノー本日本の中でもさらに画像を切り取って、
1:24:40	特定のコウ、
1:24:42	深さのところだけ
1:24:44	切り出してはいるんですけど、
1:24:46	こうなんで、多分ボーリングコアがあったらその中に、4 社のフローだと、上下異なる。
1:24:55	相双の地層、
1:24:58	を選んでだからそこだけ見ますがそれにそもそもそれがない部分は、こういう評価っていうものがかけられないか、或いは別の書き方で、
1:25:08	上下と相双がこうなるものは認め、地層が認められないっていう 1 個前のところで、
1:25:15	スクリーニングするやつもあるんですよ。
1:25:17	例えば 22 ページ敷地 20 でいうと、これだから、フローでいうと 1 個前の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:23	上下の地層と総数の異なる地層が認められないと評価したっていうその評価のことを書いてあって、その上は、
1:25:31	これはそうではなくって次のフェーズの、上下の地層と相双の異なる地層があるので、それについて、多分三つの観点のことをゴチャッと書いてあるんだと思うんですけど。
1:25:44	何でこれ、その連続性の話だったり早々観察の話だったり、海起源なのか否定的なものがあるっていう観点だったりまとまって、
1:25:56	ゴチャッと書いてあるんで、
1:25:58	この記載評価と、さっき言った最終的な星取表みたいのところを見ると、これは比木評価のどの部分で、
1:26:08	これに、供給元の方で0にしているのかって対応関係つかないんですよそれをわかりやすくないんですかというのは、
1:26:15	今んで、
1:26:17	これ、
1:26:18	例えばですね 22 ページ、ジェイス堆積物に砂やれきを含み、
1:26:23	しゅつ堆積物中についていうのはこれだから、左で言うと 9.129. 70。
1:26:30	確かに進んだ。
1:26:32	相良層群の泥岩力を受け、このことを言ってるんだから、
1:26:36	基底面に削り込みと言ってるのは、
1:26:39	これは提出堆積物の中のこの青く
1:26:46	バーが引いてますよね。ここの基底面のことを多分言ってるんですかね。
1:26:51	類似する地層が連続すると、これだから、多分隣接何々にはありませんという、これは、
1:26:58	隣接するところのコアの中にこの中にあるこの青いような上下、
1:27:04	そうする地層あるんだけど、中身が違いますとかっていうそういう、
1:27:09	この辺もですね、急に連続性の話が出て、
1:27:13	最後が含まれている比嘉相良層群の利益であり基盤、これは何か、供給元の話をしてるのかなとか。
1:27:21	あるので、
1:27:25	ちょっとこの辺りですね。
1:27:27	特に相双観察のやつは多分柱状図記事と対応するようになってるはずだと思うんですけど。
1:27:35	ちょっとそれが、
1:27:38	どこの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:40	ここどの部分の深さのことを言っているのかとか、
1:27:42	あとそれは1個1個先生まだね、補足説明資料の中身見てないんですけど、
1:27:49	ちょっと、
1:27:50	その辺りのところですね、ごちゃごちゃになってしまうと。
1:27:56	最終的なこの評価結果と突き合わせたときに、
1:28:00	すいません最後どれだけがどれでイベント堆積じゃないと判断したんですかっていう。
1:28:05	最終的な根拠なんですか。
1:28:09	この部分はそうかイベント堆積物の可能性はまだあるような、
1:28:14	ありますね早々観察した可能性ありみたいなところに評価してるんですけど、それは、この供給元でひっくり返したとか、連続性でひっくり返してくるとかっていう、
1:28:25	ソネアノわかるところの評価の記載になるもんですかねってのはもう、本当は、
1:28:31	そうしないとこれ多分1個1個現場でこの記載の評価のこの部分って、コアでいうとどこの話をしてるんでしたっけとかっていうのを延々とやり続けると、そこは単なる時間の無駄になるので、
1:28:43	一応、供給元そうそう平面的な部分っていう三つの観点で総合的にっていうんだったら、ちゃんとそのどれのことを言ってるのかどれで最後、
1:28:52	ここは根幹で否定し、
1:28:55	出るのかとか、
1:28:56	ここに書いてある記載は、左の柱状図、コアのどの部分の話をしてるのかとかっていうのは、これパッとわかるようにしといてもらわないと。
1:29:04	これは後々、
1:29:08	なんか毎回そのたびに聞かなきゃいけなくなるっちゃうことになるので、
1:29:12	どこかに資料を作り、
1:29:21	アで、
1:29:22	いいですか。中部電力久松です。今おっしゃった、まず、22ページなりの評価の中での記載だけは、やっぱり読まないで、これ、0なんだかバツなんだがどれでバツしてるんだかっていうのはやっぱり、
1:29:37	わかりにくいですので、今日お配りした、2枚裏表の2ページ目の方に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:29:45	まずはマルバツどういう評価で、どういう判定をしているか、累計型のA BCDどれに当たるかっていうのは、2 ページ目に表、ここでは整理しているんですが、
1:29:58	一覧表の中でも、このどのパターンで、
1:30:02	否定してるかってのはわかるように、
1:30:05	強いさせていただきたいと思います。そうすると、まず、それを見て、供給元で否定しているのか、連続性はあるけど、ここで否定してるのかっていうのは、
1:30:19	わかるようにはなるかと思しますので、そういう整理はさせていただきたいと思います。
1:30:32	はい。
1:30:33	お願いします。
1:30:35	はい。
1:30:41	うん。そうですね。
1:30:42	それじゃあ、ちょっともうちょっと後にします。
1:30:45	すいません。あと、ごめんなさいね。
1:30:49	あとはね、
1:30:50	はい。
1:30:52	一応、すいません、時間もあれなので、あとは少し細かいというか、全体の、
1:31:00	流れの、
1:31:04	ところでええと、
1:31:07	検討概要かな、例えば 6 ページとか、
1:31:11	出て、
1:31:12	ですよ。
1:31:13	で、
1:31:15	そう。
1:31:19	その辺りが、
1:31:21	前回まではあったのかなあ。
1:31:25	これ実はプレート間のところの評価状況とかを、当然し、例えば私は、我々ここにいる人間もちろん知ってますけど、ナイトウ、
1:31:34	いきなりここで急に保守的に、
1:31:38	何かイベント堆積物は津波堆積物とします。
1:31:43	と言っているのが、
1:31:46	これだから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:48	これ。
1:31:49	最終的にプレート間地震の津波評価上 9 クラス 20 メートル級で出るので、ここは、
1:31:56	確かそういう理由があった上でのこのイベント堆積物＝津波堆積物だったと思うんですけど、
1:32:02	ちょっとその辺りがですね、
1:32:04	何か全く見えないままに、とりあえずこういうやり方をしますっていうことだけが、
1:32:10	書いてあるんで、
1:32:12	爾見さんによってあともともと、
1:32:14	もうプレート間地震の津波今日がかなり大きいので、
1:32:19	だってここは津波堆積物調査を延々とやり続けないういう。
1:32:24	割り切るとい話があったような気がしたんですけど。
1:32:29	特にこの段階では出てこないのかな。
1:32:38	この段階で何かその最後結果に持っていくときなのかですけど、
1:32:43	ほかに何かその話が。
1:32:47	かなというのがすいません 1 点。
1:32:51	はい。中部電力のモリすみませんちょっと。
1:32:56	これを、
1:32:57	ちょっとオダがちょっと、すれ違うかもしれませんけれども前回の堆積物の審査会合のときにもう少し詳細な
1:33:05	本当に津波堆積物かっていうと、ようなところの調査を説明さしていただ
1:33:10	いてそこは参考資料というか、今回資料から戻しているという話の中で、もともと津波堆積物、
1:33:17	を上回るように基準津波設定するという話がある中で、十分つ基準津波としてはこの津波対策の評価を上回っているんで、そこまで詳細にやらずとも、
1:33:28	基準適合性の観点から、今の 5 から 10 メートルの評価というところを、きちんとこの中でイベント堆積物の中から津波リスクをもっと詳細に見つけに行かなくてもわかるんじゃないかというようなお話があったかと思
1:33:42	います。で、 もともと当初申請時からこの津波堆積イベント堆積とすべて津波対策にするっていうの評価自体は変えていないところなので、追加調査があってもなくても

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:56	ここの我々の津波の評価としては保守的にすべてをアノスミエ体制をするというようなスタンスは変わっていないというふうに考えています。わかりました。この検討概要の入口のところ、
1:34:07	という意味では変わらないっていうか、ここにプレート間地震の評価状況はあんま入ってこないということで、あくまであるとすれば 13 ページの、
1:34:15	フローの
1:34:17	このイベント堆積物すべて津波に対する評価。
1:34:21	もうここで検討をやめるとこれ以上詳細な分析なんかまではしませんっていう、ここの理屈づけで初めて出てくるってことですかね。わかりました。はい。
1:34:30	鷺見ヤノ。
1:34:32	あとはね、細かい話で、これはもう単純に、
1:34:37	これまでの形にして初めて見たときにどうかっていう意味で、7 ページとかですね。
1:34:44	これは多分文献調査の調査対象を 50 ヶ所って言うてるの多分これ結果的に 50 ヶ所であったっていう次の調査結果のところ 50 ヶ所になる話で、
1:34:56	何か初めから 50 ヶ所の文献を探したとかそんな話じゃないと思うんですよね。右側の文献調査は、
1:35:02	ちょっとこれは多分燃取なんで文献は多分遠州灘園芸沿岸域の歴史記録を調査しました。結果的に、
1:35:12	それが 50 ヶ所でしたって多分そういう、後ろを見ていくと何かそんなようなふうに見えたんですけど。
1:35:22	ちゃいましたっけ。
1:35:27	規制庁の名倉です。それでちょっと関連して、
1:35:30	コメント回答資料だと 4 ページ本編資料でいくと 6 ページなんですけど、
1:35:34	これをですね修正利益でちょっと見たんですけど、
1:35:39	前回会合資料では、実は国内外の主な科学技術系論文データベース踏査対象ということで幾つか例示して、
1:35:50	そんな中から抽出してますよっていう話があったんです、今回そこは丸々サカクられちゃった。
1:35:55	さくられていて、
1:35:57	それが理由としてどうしてなのか。
1:35:59	という話と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:01	これ、
1:36:03	論文のとか文献調査っていうのは、何時から何時までの期間の文献の調査してるんですかというのが、
1:36:11	何か最近の、ここ 2020 年以降とかってあんまり入ってないんだけど、
1:36:16	これってちゃんとやってるんですかっていうのがちょっとよくわかんなかったんですけど、そこ大丈夫ですか。何かいろいろ調べると、いえ、歴史的な現象を含めたらいろんな、結構高い数値ってたくさんあるんだけどどうやってそれスクリーニングアウトしてなんか私よくわかんなかったんですけどそこら辺説明してもらいます。
1:36:41	はい。中部電力の盛です。まず文献のデータベースのところは、すいません、概要のところでは少し細かい話かなと思って削除しているんですけどもちょっとどこにもなくなっているところは、
1:36:53	どこかでわかるように、読み、読めるようにさせていただきたいと思います。で、歴史記録及び津波堆積物の文献調査については、逐次、
1:37:05	耐震新知見を集めておりまして、反映の必要があるかということは確認をさせていただきます。で、特に堆積物の方については前回
1:37:16	本編の方でいきますと、
1:37:20	20、
1:37:21	27
1:37:23	ページ、27 ページだと、
1:37:28	今おっしゃられたような衛藤、
1:37:32	南海トラフの広域の防災プロジェクトが出てきていますので、そこから紐づけられている文献等は拾ってきております。で、ちょっと最新の知見、取りこぼしがないかという点については再度確認をさせていただきたいなと思います。
1:37:48	以上です。
1:37:50	規制庁名倉です。わかりました
1:37:54	科学技術系論文のデータベースを、等を対象ってしたときに、要は全体の範囲がどこであって、それをどういうふうスクリーニングしてるのかっていうところもちょっと、
1:38:06	資料としては参考程度でもいいんですけどわかるようにしてもらえればと思います。
1:38:17	はい、中部電力の盛です。承知いたしました。
1:38:25	すいません。阿藤。
1:38:28	その論文とかって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:31	しっかりとした学会の論文とかでもいろいろ発表されてるものも含めたら結構あると思うんですけど。
1:38:37	それに対して信頼性を個別に判断してる。
1:38:40	もしかしたらこれって、
1:38:42	ちょっと私スクリーニングのかけかたにもしかしたら問題あるんじゃないかなと思ったのは、地震調査委員会等のホームページとか、主立ったところから、関連づけられるものを引っ張ってきていて、
1:38:55	全体を調査してないっていう可能性はありますか。
1:39:04	はい。中部電力の森です。すいません。ちょっと消しちゃったかなと思うんですけど本編資料の 19 ページの、
1:39:13	19 ページはちょっと、
1:39:14	ちょっと、ちょっとあまり違いますね。すいません。19 ページに残っているような記載をすいません、ちょっと 20 ページの方に展開できてない。20 ページ 21 ページですね、ちょっと展開できてないなら戻すようにいたしますんで、
1:39:27	地震調査委員会からということではなくて、データベースからの検索をかけておりますので、そこがどのようにやっているのかということがわかるようにさせていただきます。
1:39:43	規制庁の名倉です。最近いろいろと、
1:39:49	事業者の知見に対しての対応ってのは、いろいろと、
1:39:53	あれもありますので、そういう意味でちょっと疑ってるところがあるので、
1:39:59	こういうふうな言い方をしてもあまりよろしくないかもしれないですけど、
1:40:03	ちゃんとどういう形です調査をしていて、
1:40:07	どういう形でスクリーニングをかけてるのかっていうのがちょっとわかるようにしていただければと思います以上です。
1:40:17	中部電力浜野でございます承知いたしました。我々、毎年、
1:40:23	新知見については、しっかりスクリーニングアウトしながらやってます電事連大でも見ては言いますので、それに対して、じゃあ、
1:40:35	我々の今までご説明した中にその影響するようなものすごい、本当の新知見というものは当然取り入れていきますが同じ評価結果が同じというところについて、
1:40:47	中身塗りかえる必要があるのかないのかっていうところも確認してございますのでその辺りをやってることがわかるような対応をしたいと思えますし、当然、図、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:57	名倉調整官が言われた通り最後まとめの頃までにはしっかりとすべては当然リバイスをしていきたい、最新知見を置き換えていきたいと思っております。
1:41:19	はい規制庁佐口先生ちょっともう1回コメント回答のところに戻りますけれども、
1:41:26	結局、イベントバイス既存の認定方法のところで今日追加で
1:41:31	お持ちいただいている資料も含めて、
1:41:35	この
1:41:37	本日の
1:41:40	お持ちいただいた資料の最初のページですよ。
1:41:44	ここの最初のところ2、
1:41:47	一応この3項目あって、物込む保険として総合的に判断して、
1:41:54	書かれてますけど、これ本当に総合的なのかなっていうので確認させていただきたくて、
1:42:00	というのは、結局やっぱり、これって総合的と言いつつ、実は軽重あるんじゃないのかなという。
1:42:06	例えば総合的に考えれば、
1:42:08	当然、供給元海、そうそうあり、平面的あり、確実に当然、
1:42:16	0になりますよね。
1:42:18	じゃあ、これ二つ該当したらどうなるのか、今は、御社はこのB、Bとか、
1:42:25	Cとかになるんですかね、二つ該当すると。
1:42:29	一応保守的に評価しますと、
1:42:33	一つしか該当しない、例えばDとかですね。
1:42:37	の場合は、これはもう
1:42:42	イベント堆積物としては、認定はしないと、いうふうになんか何か、
1:42:47	見えていて、じゃあ、数なのかどうかとか、例えばですよ、じゃあいかどうかっていうと、これ二つ該当しても、これはもう加瀬先生とかそういうものがわかれば、
1:43:02	ていうと、
1:43:03	実は、供給元が一番重くって重きが置かれていて、まずこれが海から、それ以外かっていうので、
1:43:10	ある意味スクリーニングアウトしてしまっている部分も実はあるんじゃないのかなと。
1:43:15	という意味で、ちょっと確認をさせていただきたいんですけどだから総合的といいつつ、軽重もあり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:22	そうするとですよ。
1:43:24	そうすると、このコメント回答も、
1:43:28	どっか最初のところにフローがあったと思うんですけど、
1:43:32	そこでも確かにこれ総合総合的みたいな、いうふうにさ、3、3、参考んで、
1:43:39	3項目あって、
1:43:41	に見えるんですけど、
1:43:43	実は13ページで、
1:43:46	これ①、しかもこれ①早々②平面的な分布、③、供給元ってあって、
1:43:53	ちょっと今の、
1:43:57	感じだと、場合によってはこれ、
1:43:59	丸野丸の番号が変わるんじゃないのかなとか、例えば軽重がもしあるのであればですよ。
1:44:07	ということも少し考えられるので、ごめんなさい、ちょっとその辺り軽重があるのかとか本当に総合的って言われてますけどその総合的にはなんなのかっていうのをもう1回教えてください。
1:44:22	中部電力西村です。はい。佐口さんのおっしゃる通りで、供給元のところについては、重視しているところであります。
1:44:30	今回お渡しした1ページの箱書きの方には少し、ちょっとなお書きにはなっているんですけど、
1:44:39	陸期限のイベント堆積物には見られない、津波堆積物、特有の特徴というので海起源、
1:44:46	キュウゲンですね、牧奥井のところを重視して評価しておりますということで書いてございます。
1:44:50	ちょっと総合的っていうふうに言わせていただいているところについては
1:44:56	Dのようなところですね、供給減として海があって相双の乱れがない連続性もないといったものについては、
1:45:07	そういった堆積物が内陸に孤立するっていうのが考えがたいということから、そういうのも追加調査で精査しますよと、総合的に判断しますよっていうところで記載させて、
1:45:19	今、記載してございます。
1:45:24	はい規制庁サービスいずれにしても軽重あってここに書かれているようにまず海起源が第1であると。
1:45:32	その他については、先ほどのBみたいなところは、もうちょっと詳細に見て、それが例えばCみたい。CとかBになったらそれは確実に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:42	保守的と言いつつもそこは評価をしましょうと、そういう意味で、総合的に書かれているということっていうご説明は理解したんですけど。
1:45:51	なのでちょっとこの、
1:45:53	コメント回答も、これ本店もそうなんですけど、
1:45:56	このフロー、フローの
1:45:58	評価方法も、ここは、
1:46:03	先ほどのなおなお書きをつけるのか、番号を入れ替える場合でも番号を入れ替えるとこのなんかさ、最終的な、
1:46:11	評価の、
1:46:13	順番も多分これ変わっちゃいますよね。
1:46:16	と思うんで、その辺りはちょっと工夫してですね、いずれにしても、
1:46:21	この認定方法っていうのと、この 13 ページのフロー、先ほどアノスズキとかも言いましたけど、まずどう、どういうものがあって、
1:46:29	それに対して、どういう条件でスクリーニングアウトとかしていきながら、最終的にどういうふうの評価を、
1:46:37	して、認定するのかと。
1:46:40	いうところがちゃんとわかるように、
1:46:42	していただきたいと思いますのでそこはよろしく願います。
1:46:46	はい。中部電力の久松です。あと先ほども竹山の方からありましたけどこのイベント認定方法については提出した後に作ってありましてそれが
1:46:57	提出させてもらった資料の方に反映してないので、こちらの方を紐付けするようにこの認定方法にひもづけされるようにして、ちゃんと中出層がないようにさせていただきます。
1:47:10	チームでぬかものでございます。す。
1:47:13	先ほど山下さんからもあったこの 1 ページの表をちょっと
1:47:17	まだまだ工夫がいると思ってて、
1:47:20	どっちかというとですね供給元の、
1:47:23	河川崩れ植生等、要はこちらが確固たるデータで、その 4 時限というかですね。
1:47:33	余った方は、
1:47:34	海だって言っていると。
1:47:36	同じように宗層も、
1:47:38	ないよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:47:39	絶対にないと確認できてるところまで確固たる情報でそれ以外はありというような形、同じく連続性についても絶対にないというところそちらが固くて、
1:47:52	管理の方が少しグレーゾーンも含めて選んでますよという、我々の
1:47:59	この調査結果をまとめているもんですから一般的な評価で、
1:48:05	三つ丸だったらどうだっていうところ等少し誤解が出てしまって、先ほど来あるようにEとかFみたいに、等に困るなのに、
1:48:17	何で堆積物じゃないっていうと、確固たる、
1:48:22	河川崩れなんかははっきり見えてとれていて、他、個別に見ていくとグレーであってってようなのが、ちょっと集約しちゃってる部分、逆にわかりにくくなってるかなというのが
1:48:34	あるので、もう少しそのあたり、わかるように工夫して参ります。
1:48:58	ページ。
1:49:02	○で取ってる。
1:49:09	一般はもうて、
1:49:13	そう。
1:49:24	他のパターンやる前、
1:50:07	規制庁の山瀬です。コメント回答資料の 30 ページ目についてちょっと教えていただきたいんですけども。
1:50:15	企業分兼用されてただし書きのところですかね。
1:50:22	なおっていう、四角で書いてるところの下の文章で、なおって書いてるところなんですけども、
1:50:29	この最後のこの仙台へヤーにおける分析結果の範囲内。
1:50:34	であることを確認しているっていうのは、この範囲内っていうのはどういうことだったんでしょうか。
1:50:48	はい。中部電力の盛です。こちらこれまで説明してきた内容で本編資料の方で
1:50:56	69 ページ以降で
1:51:04	2.3 章ということで、津波耐性物から推定される津波高をどう評価していますかというようなことを資料と説明してございます。で、70 ページ 71 ページで高さとの差分、
1:51:17	の話。
1:51:19	7710G72 ですね、の話があつて 72 ページから、暑さ等の地形的特徴との関係。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:28	との知見ということで 207273 ページで当期の知見のお話を記載させていただいてます。今の山下さんから御所ご確認あった 73 ページのゴトウの知見について、
1:51:40	次の 74 ページの方で、敷地に限らずですね、都市敷地を含むし、遠州灘沿岸域の文献調査結果も含めて、と同じように、堆積物の厚さと、堆積地点の浸水深との関係ということで、
1:51:55	遠州灘沿岸域の津波高、5 から 10 メートルというところがちょっとここは想定になりますけれどもそこの関係でプロットするとどうなるかというのをここに示ささせていただいてますんで、
1:52:06	かなり仙台部屋の津波対策調査結果のばらつきも大きいんですけども、遠州灘沿岸域の調査結果も同じような範囲内にばらついているということはこの図から確認しているというものでございます。
1:52:21	なるほどこの図でのばらつきが現千田家の土岐能登。
1:52:29	ばらつき程度が見てるってことなんですね。
1:52:32	わかりました。
1:52:38	はい。ちょっと今日もコメント回答資料とホームページをちょっと行ったり来たりしてかなり説明が難しいので、紐づけなり、
1:52:44	必要なものを持ってくるならちょっと対応させていただきたいなと思います。
1:52:48	ただいまの 74 ページ目のやつって、ちょっと教えていただきたいんですけども、この遠州灘の調査結果が仙台へ
1:53:00	3 市の時のと、ばらつきは見てるっていう情報を、
1:53:04	ドイ、どういうふう今回の
1:53:08	なんでしょう。
1:53:10	反映させてるのかなっていうのちょっとわからなかったんですけど。
1:53:15	これがばらつきが同じだから、
1:53:21	同じように分布してるから、
1:53:30	なんでしょうこれ。
1:53:33	堆積物な津田新推進。
1:53:39	これから、
1:53:45	海岸線からの距離を見て、
1:53:48	その海岸線からの距離に対応する。
1:53:53	疑似的なまたセキ物濃度がわかって、それに対してそこでの浸水深を出してるっていうことですかね。
1:54:03	ではない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:04	つまり、コメント回答資料の方の 30 ページ目のところでは、
1:54:10	このただし書きのところは、層厚と津波、頭の方にイベント堆積物の層厚と津波堆積物から推定される。
1:54:18	津波高の関係っていうふうに、
1:54:22	されてると思うんですが、
1:54:23	それは、
1:54:25	どういうふうに評価されたのかなっていう。
1:54:28	ところを知りたかったっていうところですか。
1:54:31	この 7、本編資料の 74 ページのこの図を使って、絶えず高さを評価したっていうことですね。今の流れでいうと、
1:54:54	はい。すいません、中部電力の森さんこちらの審査会合でも議論になったのでこういう検討もしていますということをお書きでちょっと書かさせていただいたんですけども、コメント回答のこの暑さの厚いところとか薄いところがあるというところと直接関係しているわけではないので、
1:55:10	ちょっと誤解を招くのかなということであれば削除の方がいいかなと思っています。その上で 74 ページの方は先ほど申し上げたように
1:55:20	堆積物の厚さ等、今遠州灘沿岸域で見られている、5 から 10 メートルぐらいの津波高高さというのをを使ってグラフに落とし込むと、仙台へヤノ等々国との関係と同じぐらいになっているというのを、
1:55:32	別の観点というか、津波高を推定するという観点からお示したもので、その点ではばらつき大きいものと同じような分布範囲になっているというのを確認した。
1:55:43	図になっています。ここも確認した上で、69 ページの方に全体のこの章の概要がございますけれども、やり方としては
1:55:55	左上の方の図の方に書いてあるような堆積物の分布標高と最大遡上高の、
1:56:03	69 ページです。69 ページ。はい。左上の図のような、江藤将分から評価していくっていうような方法と、左下のような今の
1:56:14	堆積物の濃度というか、費の関係から整理していくというような方法と、二つあるという中で、どうしても北川ばらつきを聞くので直接直接使うことはちょっと難しいのかなということ。
1:56:27	終わり、左上のサブの方で 0 から 2 メートルという方を今回は採用していると。で、その採用にあたっては、左下の整理でもそごがないと、整合的であるということを確認した上でそこを使っていきますというようなことを検討概要としてまとめて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:41	はい、わかりましたありがとうございます。実はてっきりこの左下の図の、このばらつき、
1:56:48	が、範囲内というか、言葉で言うところのばらつき全体を見てるっていうふうに思って、
1:56:55	かなと思ったんですがただ実態は0から2メートルっていう、
1:56:59	ことで、何かちょっと情報乖離してるなと思ったので聞かせていただきました。はい、ありがとうございます。ちょっと趣旨がわかりにくい誤解を招くところ再検討させていただきたいと思います。
1:57:12	すいません。ちょっと、
1:57:15	1個1個だけ確認なんですけど、
1:57:18	すいませんイベント堆積物の認定方法で供給元で、河川、
1:57:22	であるのは、
1:57:24	ちょっと私洪水堆積物のこと言ってるのかなと思ってたんですけど。
1:57:29	それはそれでよろしいですか。
1:57:46	中部電力の久松です。
1:57:49	補足説明資料の19ページ見ていただきますと、今回、この下線と判定したイベント、
1:58:00	ミツイアノの場所が、新居野川というところでして、
1:58:08	19ページになります。
1:58:14	パパ
1:58:15	で本日お配りした裏表の資料ですと2ページの方見ていただきまして、左から二つ目の列に整理してある。
1:58:25	イベントでないとしたTHAI地層の中の上の方、N1からN2まであってそこに下線というのがあります。下線ってのはここだけになります。
1:58:36	土佐先ほどの補足説明資料19ページの方に、そういったものがあるのはこの新野側の周辺、流域でして、
1:58:47	ちょっと津波堆積物ということで平地を、
1:58:52	ねらって当然調査をするんですが、
1:58:56	あまり広い範囲、
1:58:59	あまり大きな広い、低地がある、ないところでも、
1:59:05	ちょっと無理をしてといいますか、調査をしているところがあって、この新野側につきましては、もうほとんど河川に沿って調査している地点になりまして、どうしてもこの
1:59:16	アノ新野川河川の氾濫元の
1:59:21	須永。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:23	は入ってきてるのかなと、ここの須永、とらえられていると。
1:59:28	いうところでございます。
1:59:30	とりあえずその川沿いで川が氾濫して、もうそれをコウズイっていかどうかわかんない。そうやって溢れ出した時にたまった堆積物ということでこの河川って言葉を使ってるってことですかね。はい、わかりました。
1:59:56	どうしてもものものがあれば、
1:59:59	ちょっとラップは、
2:00:02	はい。
2:00:03	ですかねちょっとまず、このイベント堆積物認定方法のところは、
2:00:10	多分この供給元の認定総層としてのありなしの評価平面的な張りなしの評価と、多分そのあと、総合的に何を重視して、
2:00:20	合わせ技一本でイベント堆積部にするのか、っていうところですかね、その辺りが、
2:00:27	わかりにくいかと思しますので、
2:00:29	特に供給元では、多分さっきも途中だった植生なんだけど、
2:00:34	相双では構造みたいな形つり具ありとしてるんだけど、多分その判定が実はこういう趣旨で安定してるので、何か植生と、
2:00:44	想像では、この場合はイベント堆積物にならないんですって。
2:00:49	早々で、構造観だけ積みコミヤれにしてるんだけどそれはあくまで本当に小乱れに見られてしまってるものではなくて、そうじゃない、こういうパターンで、早々ありとしているので、
2:01:01	これは合わせ技一本にはなりませんって多分そういう、
2:01:04	そうだと思うので、そのあたりがね。
2:01:07	わかるようにしておいてください。
2:01:10	後でお願いします。あとはここのその評価の評価とかですね、その辺りだと思いますけど、
2:01:19	はい。
2:01:20	新しく調査とか、そういうものでは多分ですね、評価ってということではないので、
2:01:28	はい。まだ、とりあえず、ヒアリングとしては以上で、特に中部電力はないか。
2:01:35	それをしなければ、
2:01:37	終了。
2:01:38	はい。
2:01:39	中部電力ものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:42	認定方法のところ、ちょっとゴチャットおっしゃっておりますので、ここでどういう思考過程で、総合的に判断してそれが最終的な
2:01:52	柱状図等々、結果に結びついてるかっていうところわかるようにしっかり対応して参りたいと思います。
2:02:02	はい。
2:02:03	よろしく申し上げます。よろしければヒアリングは以上で終了しますかね はい。お疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。